

目指せ埴輪アーティスト

葛城市立新庄北小学校 四年 下村 彩乃

私の夢は埴輪アーティストです。将来は自分が作った埴輪をいろんな人に見てもらいたいと思っています。

私が埴輪アーティストになりたいと思ったきっかけは二つあります。一つ目は、はく物館で埴輪を見て、いろんな形や大きさがあって、すごいな、面白いなと思ったからです。二つ目は、実さいに埴輪を作るワークショップにさんかして、埴輪を作ってみたら、ねん土で作った輪っかをかさねたり、埴輪の顔や表じょうを考えて作るのがとても楽しく、もつとやってみたいと思ったからです。

将来埴輪アーティストになるために、私はまず、埴輪がたぐさんのついている本を読んで、埴輪の歴史や種類を勉強したり、埴輪がたぐさんある古墳に行つて、実物を見たりしました。

それから、ねん土を買つてきて、埴輪を作る練習をしまし

た。初めは小さくてかん単な形から作り始め、今では中にしんを入れて、少し大きな物も作れるようになりました。ネットショップではん売出来るようになったらいいなあと思っています。そのために少しむずかしい形も練習しています。

埴輪アーティストとして、埴輪のみ力をたくさんの人に知ってもらえるように、私ももつと埴輪のことを勉強していきたいです。そのためには大学で考古学を学ぶのもいいなと思っています。

埴輪アーティストになるために今の私に出来ることは、埴輪を作り続けることと、自分が学びたいことを学べるところに進学するための勉強だと思っています。夢をかなえられるようにがんばりたいです。

下村 彩乃 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 埴輪アーティスト 埴輪商店店主
その理由： 埴輪がとっても好きで、関わる仕事につきたいと思ったから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	9(小4)	本を読み、埴輪を作る。	本代・ねん土代
2024年	10(小5)	埴輪のあるはく物館に行く。	入館料
2025年	11(小6)	れき史のことについてなどを勉強する。	本代
2026年	12(中1)	少し遠くのはく物館に行く。	入館料、切符の料金
2027年	13(中2)	大きな埴輪を作ってみる。	ねん土代
2028年	14(中3)	続ける	〃
2031年	18(高3)	作品展におうほして入しょうを目指す。	ねん土代
2032年	18(大学)	考古学を学ぶために大学に行く。ネットでも少し活動も考える。	生活費
2033年	19(大学)	続ける	生活費
2034年	20(大学)	埴輪商店を開くためのお金をためる。アルバイトなどをする。	生活費
2036年	22	お店を開く仲間会議をする。	
2037年	23	お店を開けそうな場所をみる。	家賃
2038年	24	お客様にたぐさん来てもらえる心地良い場を作りたい。	ねん土代
2039年	25	埴輪の発注を開始する。	ねん土代
2040年	26	働く人たちのこを直してほしいなどの意見を一人づつ大切に聞く。	
2041年	27	お店を買うことも考える。お客様へのアンケートで意見ほしょう	
2042年	28	お店を開く。	土地代